



今日は3学期になって初めての参観日でした。お忙しい中、多数の保護者の皆様にご来校いただき感謝申し上げます。

この1年間の学校生活で、心も身体も大きく成長したお子さんや学級全体の様子をご覧いただけたのではないかと思います。もしも何か気になることがございましたら、遠慮なくお知らせください。

また、先日は後期学校評価にご協力いただきありがとうございました。結果につきましては、ただいま集計中です。来週以降、順次お知らせする予定にしております。



1.22(水)~30(木) 学校給食週間のイベントを行っています



「学校給食の歴史や意義について児童の関心を高め、食生活の大切さを理解させること」と、「給食に携わる人々への感謝の気持ちをもたせること」の2つをねらいとして、22日(水)から1週間を学校給食週間として、様々な取組を行っています。



学校給食の移り変わりを献立の中で再現されており、学校給食が始まった明治時代(セルフおにぎり・たくあん・すいとん・鮭の塩焼き)に始まり、大正時代(五目ご飯・五目みそ汁・いわしの生姜煮)、戦後給食が再開された昭和20年代(コッパン・いちごジャム・トマトシチュー・鯨の一ロカツ)、米飯給食が復活した昭和50年代(麦ご飯・カレー・フルーツポンチ)の時代を象徴する給食が提供されます。

24日(金)は、浦辻栄養教諭が動画編集した「給食室の1日」を給食を食べながら全校で視聴しました。食材が大量に運ばれてくるシーン、お米や野菜を洗ったりカットしたりするシーン、回転釜で大量の肉や野菜を炒めるシーン、炊き上がったご飯や汁物をつぎ分けるシーン、昼からの食器洗いや乾燥機に入れるのシーンなど、普段見ることができない調理員の仕事ぶりを視聴しました。



29日(水)と30日(木)には、クラスごとに子どもたちの感謝の気持ちをこめたメッセージカードを調理員さんへ渡すことにしています。

食を通じた素敵な交流になるといいと願っています。

平生っ子たちは、給食をよく食べてくれます。給食のにおいがしてくると、今日は何のメニューかなと当てっこしているようで、給食を楽しみにしてくれているのが伝わってきます。これからも頑張って皆さんが喜ぶ献立づくりをします。
~浦辻栄養教諭より~

☆☆☆☆ 第77回山口県学校美術展覧会 ☆☆☆☆

熊毛支部の代表として県の学校美術展審査に送られていた作品のうち、下記の児童の作品が入賞しましたのでお知らせします。

なお、仲元くんの作品は、県立美術館での展覧会(1.23~1.26)で展示されます。

- | | | | |
|------|------|-------|--------------------|
| <優良> | 4年2組 | 仲元 尊 | 『ザリガニ船で魚いっぱい海を探険!』 |
| <入選> | 1年2組 | 岩北琉煌空 | 『うみのそこのひみつ』 |
| <入選> | 4年1組 | 北野 歌音 | 『秋山をながめる少女』 |
| <入選> | 6年2組 | 埜田 倫果 | 『校舎が見える思い出の場所』 |

